

第5学年2組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成26年12月10日(水) 5校時 5年2組教室

2. 議題 「それいけTKG集会をしよう」

3. 議題について

学級目標： 協力する子 ちょう戦する子 考えて動く子

(1) 児童の実態 <男子11名、女子11名、合計22名>

クラス全体的に仲が良く、清掃活動や当番活動、係活動など、協力して活動する姿が見られる。どのようなことでも、真面目に前向きに取り組んできた。5年生の当初は「正しくありたい。」「間違えたくない。」という思いがあり、担任の指示を聞いて動く姿が多く見られた。現在は、担任の指示がなくとも、自分で考え思いを進んで表現したり、友だちと話し合いながら考えを出したりする場面も見られるようになった。また、自分なりの考えをもつことが難しかった子も、友だちの考えを聞きながら、意見をもてるようになってきた。しかし、強く主張する子どもに流されてしまう場面も見られてきている。そんな中、学級目標の中の「協力する子」とはどんなことなのか問いかけると、子どもたちは「みんなの力を合わせること」と感じていることが分かった。そのことをもう一度意識し、だれかの意見に流されるのではなくみんなで力を合わせて取り組むよう、支援している。

学級会は七回、集会活動は五回行ってきた。学級会では、「転入生の歓迎会をしよう」や「冬運動会をしよう」など、ねらいにそって話し合うことを重ねてきた。「転入生の歓迎会をしよう」では、転入生が喜び、さらにお互いのことをもっと知ることができるための工夫を考えた。集会活動の後には、「転入生の〇〇さんが喜んでくれてよかった。」「みんなの知らなかったところが知れた。」という感想が聞かれ、転入生も「みんなと仲良くなれた。楽しかった。」と笑顔を見せていた。「冬運動会をしよう」では、6年生にむけてがんばろうという思いをこめて、スポーツに挑戦しようと、どのようなスポーツに挑戦するかを考えた。集会活動後は、「楽しかった。」「大縄の10人跳びに挑戦できた。」「6年生にむけてがんばろうという思いにはなっていないので改めて6年生にむけてがんばろうという気持ちになるような活動をしたい。」と、うまくいかなかった点をふり返りながら、ねらいにそった集会にするにはどのような内容にするか、改めて考える姿が見られた。

(2) 議題の選定

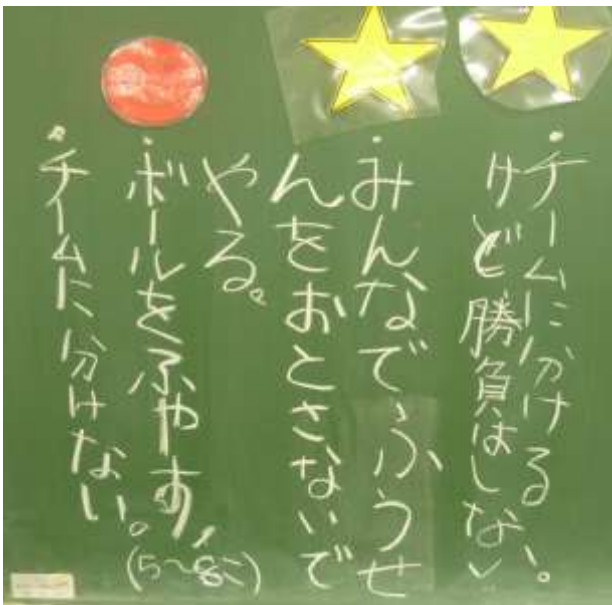
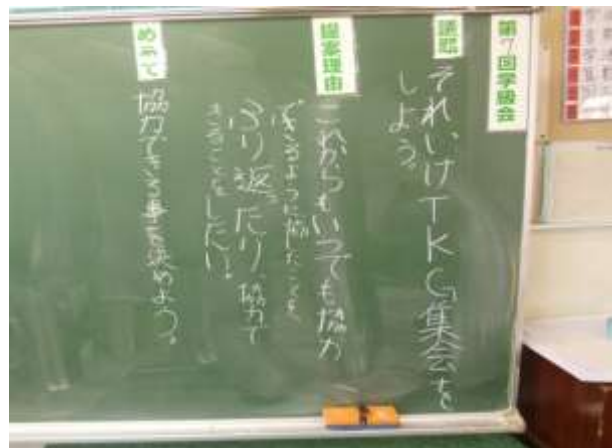
運動会や全校遠足、子どもまつりなど、5年生になってから様々な出来事があった。特に自然教室は大きな達成感を得た思い出として子どもたちの心に残っている。自然教室で協力できた思い出をふり返り、また、クラス全員で協力できる活動をして、思いを分かち合いさらに協力を深めていくクラスを目指していきたいという提案者の思いがある。そんな中、「TKG」(力を合わせて、協力して、がんばろう)という言葉が生まれた。今まで、小グループや学年、縦割り班での協力は考えても、クラスみんなで協力するという意識する機会は少なかった。担任も、子どもたちが指示を待つのではなく自分で考え、思いをもって活動できるようになってきた今、クラスで協力する気持ちを高めてほしいと考えている。6年生にむけてがんばろうという活動をやりたいという提案もあったが、まずはクラス内での協力に目を向けたいと考え、本議題を選定した。

(3) 学級会（話し合い活動）の様子

次のような提案理由とめあてで学級会を行った。提案理由、「今まで協力できたことをふり返し、協力できることをして、これからも協力できるようにしたい」。めあて、「協力できることを決めよう」。

やることとして「パイプライン」と「風船バレー」はすぐに決まったが、「風船バレー」の協力できる工夫を考える際、グループに分かれて勝負をする、グループに分かれるが勝敗をつけない、円くなってたくさんの風船をリレーするなど、様々な意見が出された。その中で、「全員の力を合わせたい。」という提案者の思いを再確認し、グループに分かれず全員で風船を上げようという案と、グループには分かれるが競うわけではなく、風船を落ちないようにリレーしていこうという案に決まった。

板書記録



4. 評価規準

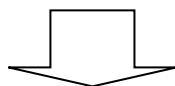
集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
役割意識をもち、自主的に準備や練習をしようとしている。 集会の内容や参加の仕方をふり返ろうとしている。	見通しをもって活動計画を立て、信頼し支え合って実践している。 集会のねらいに沿って創意工夫を活かしながら一生懸命活動している。	集会活動の意義や運営方法について理解している。 効率的な役割分担の仕方が分かっている。

5. テーマとのかかわり

テーマ： 夢や希望をもち、よりよい人間関係を築く特別活動

サブテーマ： 自分もよく、みんなもよい

～聞き合い、折り合い、分かち合い～



高学年の目指す子ども像：

他者の考え方を受け止め、お互いのよさを理解し合い、高め合える行動がとれる子

教師の思い

話し合いでは、協力を意識した意見が集まった。どのように協力するか、様々な協力の仕方がある中で、もう一度協力の意味を見つめ直し「クラスの全員の力を合わせたい」という提案者の思いにクラスみんなが寄り添った形で、内容が決まった。事前の準備では、「TKG」を合い言葉に進めているが、取り組んでみたら思った通りにいかなかったり、同じ役割の友だちと意見が合わなかったりなど、スムーズにいかない点がある。しかし、友だちと一緒に考え、話し合っていく中で、よりよい形へと変えていっている。集会当日、協力している充実感を味わい、それをクラスで分かち合う姿が見られるのを期待している。

今まで、運動会、自然教室、子どもまつりと、様々な学校行事があった。中でも自然教室は、絆を深める大きな行事であったと同時に、協力できたという子どもたちの自信にもなっている。今回の学級会を通して、さらに「そうだね、そんなことがあったね。」とクラスみんなと同じ気持ちになり、これからもがんばろうという思いにつなげてほしい。その気持ちの高まりとともにクラスみんなが協力する活動に取り組めたら、これからの協力に対する意識が変わってくるはずである。最後に「残り3ヶ月、6年生にむけてがんばろう」という思いをもち、次の学級会につながるような実践にしたい。

テーマに迫るための手立て

学級会（話し合い活動）

<前日まで>

○計画委員への支援

提案者、司会グループとは事前に打ち合わせを重ね、安心して進行できるようにした。特に、話し合いが混乱しないように、一つずつ意見を求めていくよう打ち合わせをした。

<当日>

○話し合いのめあてに沿った教師の助言

常にめあてを意識するよう声をかけた。また、他者の考えを受け止め、その上でどうすればよいか考えるよう促した。

事前準備

○子どもたちの姿

子どもたちが、活動全体の見通しをもつことで、計画的に準備や練習ができるようにする。活動の様子を注意深く見守っていくことで、分かち合いの姿を見とっていく。また、話し合いの時と準備の時に様子の違う子どもがいたら、その様子を注意深く観察する。

○協力し合う姿

同じ役割の友だちと集会活動に向けて考える中で浮かんだアイディアは、どんどん取り入れるように促す。必要に応じてクラス全体で確認する。

集会活動

○主体的な活動

一人一人の役割を明確にし、係の仕事に責任をもって活動できるようにする。また、提案者の思いを再度確認し、集会に臨むようにする。

○分かち合いの場

活動をふり返る場を設け、ねらいに対してどうだったかという思いを分かち合えるようにする。また、「先生の話」では、本時の活動だけでなく、話し合いから、準備・練習、当日にいたる子どもたちの姿を賞賛する。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価（☆）と支援（○）
1 1 月 2 1 日 (金) 特活タイム	計画委員会で、議題の選定をし、学級会のめあてや役割分担の計画を立てる。	○議題の内容を確認し、学級会に向けて統一したイメージをもてるようにする。 ○役割を確認し合うことで、学級会の進め方が理解できるようにする。 ☆学級会に向けて進んで準備をしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)

1 1 月 2 1 日 (金) 休み時間	クラスに議題と提案理由、学級会の柱を伝える。 議題に対するアンケートをとる。	○一人一人が自分の考えをもてるようにするために、議題や提案理由を伝えておく。 ○学級会へのイメージをもてるように、話合いの柱を確認する。 ☆学級会のめあてと意見を考えている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
1 1 月 2 5 日 (火) 特活タイム	アンケートの集約をする。 「集める」段階の意見の精選をする。	○提案理由に沿った意見かどうか確認することで、意見の精選の基準とする。 ○意見を分類整理することで、話合う時にスムーズになるようにする。
1 1 月 2 6 日 (水) 休み時間 放課後	計画委員会で学級会のながれを話し合う。 役割分担に従ってシミュレーションを行う。	○流れを確かめられるように学級会の場面を一緒にイメージしていく。 ☆担任とともに学級会の進め方を考えている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
1 1 月 2 7 日 (木) 給食時	集めた意見をクラスに提示し、共通理解をはかる。	○整理をした意見の中で、今回取り上げられなかった意見には説明をする。また、比べられないものには分けて考えるように伝える。
1 1 月 2 7 日 (木) 学級活動	学級会をする。	○話合いがそれてきた時には、めあてに沿って考えるよう全体に伝える。 ☆友だちの意見を聞き、それを受けて意見をつなげている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
1 2 月 1 日(月) ～9日(火) 特活タイム 休み時間 放課後	準備や練習をする。	○必要な物や使いそうな物を用意しておく。 ○活動が工夫できるように助言をする。 ☆決定したことについて、自主的に準備や練習を実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

- ①ねらい お互いの役割を認め合い、協力を意識して活動している。
- ②本時の視点 ねらいを意識して集会に取り組む様子が見られたか。
分ち合いの姿が見られたか。

③活動計画

児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)
<p>プログラム1. 始めの言葉</p> <p>プログラム2. 八ヶ岳TKGクイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然教室で協力したことに関するクイズをする。 <p>プログラム3. TKGパイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力しようと思いをこめて作ったパイプでボールをつなぐ。 <p>プログラム4. ラリーを続けろ！</p> <p style="text-align: center;">TKG風船バレー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームに分かれてラリーを続ける。 ・チームに分かれずラリーを続ける。 <p>プログラム5. みんなからの感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当ごとに感想を発表する。 <p>プログラム6. 先生の話</p> <p>プログラム7. 終わりの言葉</p>	<p>○集会がスムーズに進むように、自分たちの役割とめあてがわかって取り組めるように確認しておく。</p> <p>☆自分の役割やめあてを理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)</p> <p>○安全面に留意して取り組むよう声をかける。 ☆話合いで決定したことを受けて、ねらいに沿って活動しようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○具体的な場面や活動を交えるよう声をかける。 ☆当日や準備の姿勢をふり返ろうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○実践の中で分ち合いが見られたところや、準備の段階での様子を伝え、次への意欲が高まるようにする。</p>

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価 (☆) と支援 (○)
<p>1 2 月 1 1 日</p> <p>(木)</p> <p>朝の会</p>	<p>ふり返りカードを書く。</p>	<p>○集会のよかったところと次時の活動に活かせる内容をふり返るよう伝える。 ☆学級全体での活動の仕方、自分や友だちの態度について互いにふり返り、次の活動に活かそうとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>